基本方針 2

「自ら学びに向かう力」を育む

子どもたちが前向きに、主体的に学ぶことができる教科書

学びたくなる、考えたくなる— 紙面構成の工夫

三つの発問で「学びの流れ」を作り、子どもたちが学習に取り組みやすくなるように工夫しました。

読みやすい！
すべての教材を見開き単位で構成しています。

気づく

① **導入**
教材に入り込むために役立つ発問例を示しました。

考える・深める

② **考えてみよう**（中心発問）
教材のねらいに迫るための手がかりとなる発問例を示しました。

「道徳の学び方」が動画に！ ➡p.21

見つめる・生かす

③ **見つめよう・生かそう**
学習を通して気づいたことや考えたことを確かめ、これからに生かしていくための発問例を示しました。

豊かな学び合いのある授業で
自己肯定感 UP
学び方をわかりやすく示すことで、誰一人取り残さない授業に。みんながすでにもっているよさが引き出される、豊かな学び合いを実現します。

新教材
3 やさしさのバトン
思いやり
山崎さんが目の病気でこまっていると、小学生が声をかけてくれました。それから、サポートは何年もつづきました。
山崎さん
女の子
1 「やさしさのバトン」とは、どのようなものだと思いますか。
和歌山県和歌山市の目がふじゆうな男の人が、十年いじょうにわたり、地元の小学生に助けられながらバス通きんをつづけました。
ある女の子に声をかけられたことが始まりで、その子のそつぎょう後も「やさしさのバトン」がつながれたのです。
和歌山市役所職員の山崎浩敬さんは進行性の目の病気で、目が見えにくくなり、四十才前に通きんで使っていたバイクを運転できなくなりました。いったん仕事を休み、くんれんしせつで白いつえの使い方やふだんの生活のすごし方を学びました。二〇〇六（平成十八）年には仕事にふっきし、二〇〇八（平成二十）年からは、一人でバス通きんをするようになりました。
通きんを始めて一年がたった朝、バスていで待っていると、「バスが来ましたよ。」と女の子の声がしました。「乗り口は右です。かいだんがあります。」とざせきにあんないしてくれました。同じバスで小学校に通う三年生の女の子で、おりるバスていも同じでした。それから、女の子は、毎日、山崎さんに声をかけて助けてくれました。その子は三年後にそつぎょうしましたが、新学期には同じ学校のべつの子どもが助けてくれました。
山崎さんは二〇一四（平成二十六）年に目が見えなくなりましたが、子どもたちのサポートはつづき、なにげない会話が楽しみになったそうです。
この八年間サ
子がそつぎょ
いだわけでは
助けなさい。』
す。その後、
ついでいます。
はふあんだっ
い時間になり
でささえても
とえがおで話
毎朝が楽しみ
ました。
一時は仕事を
りましたが、
げで定年まで
がんばれそうです。」と話しています。
＊定年　会社や役所などで、やめることが決められている年れい。
2 考えてみよう
このお話で、えがおになった人はだれかな。えがおになった人の気持ちを考えてみよう。
3 見つめよう・生かそう
自分たちのまわりで、「やさしさのバトン」につながることは何だろう。
●作・二〇二一年二月十日 読売新聞による ●絵・藤原ヒロコ
17
18
19

3年 p.16−19 「3 やさしさのバトン」

新 教材

4つの視点のマークと色分け
A～Dの視点を、子どもにわかりやすいアイコンと色分けで示しました。

新 キーワード
内容項目を児童向けのわかりやすい言葉で掲載。
学習の手がかりを示しました。

教科書 QRコンテンツ
ここからQRコンテンツサイトにアクセスします。
➡p.20・21

リード文とおもな登場人物
児童の教材内容の理解を助け、考えたり、話し合ったりする時間をしっかりと確保します。

基本方針 2

「自ら学びに向かう力」を育む

道徳科における、主体的・対話的で深い学びをめざして―「ぐっと深める」

子どもたちの思考を深めるための手立てを、参考例として具体的に示しました。

動いてみて

役割演技を通して**ぐっと深めて**

見つめよう 生かそう につなげる！

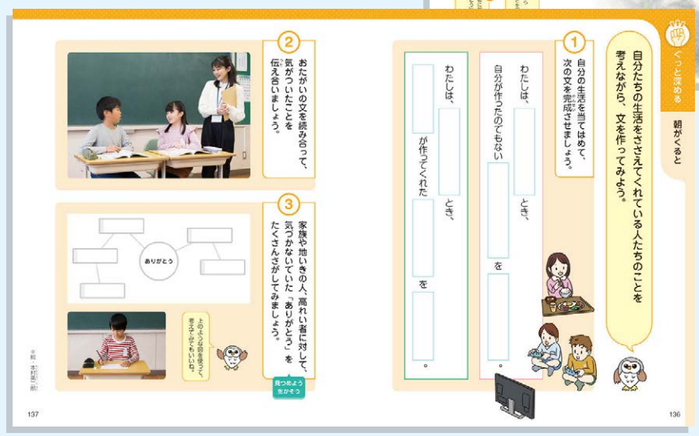
2年 p.62−65 「14 あぶないよ」

演じることで
実感をもって
考えることが
できる！

書いてみて

言語活動で**ぐっと深めて**

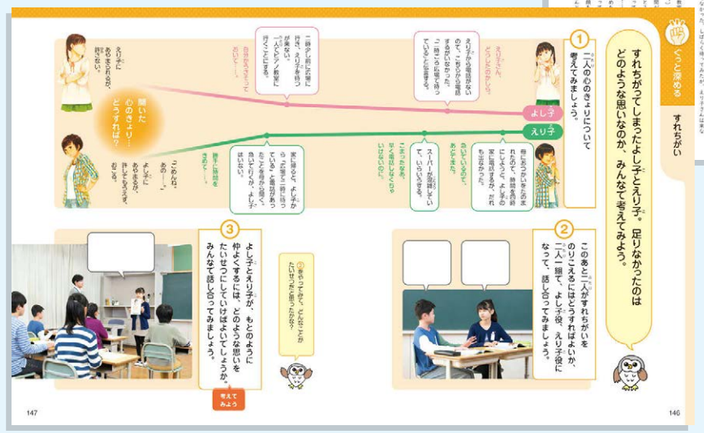
見つめよう 生かそう につなげる！



4年 p.134−137 「27 朝がくると」

書くことで
じっくり
考えられる！

整理することで
わかりやすく
考えられる！



5年 p.142−147 「31 すれちがい」

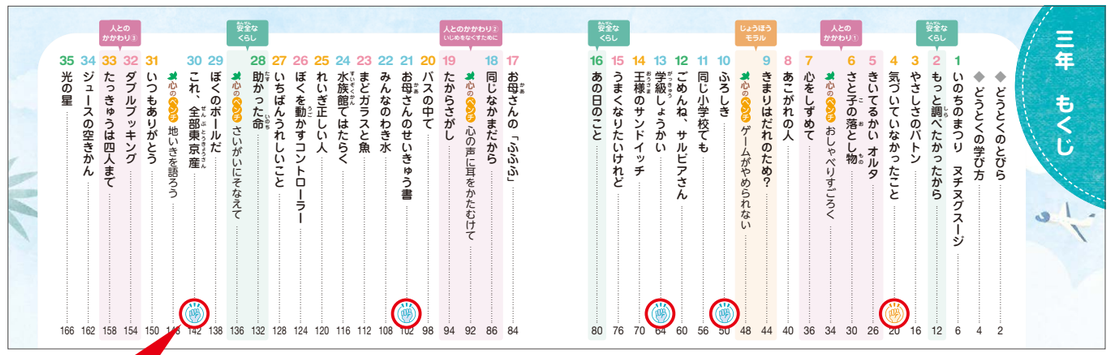
整理して

図式化して**ぐっと深めて**

考えてみよう につなげる！

新 「ぐっと深める」

ねらいにぐっと近づいた深い学びを実現するために、読み物教材による学習に加え、**問題解決的な学習**や**体験的な学習**の手法、**多様な実践活動を生かした学習**の要素を取り入れた多様な参考例を具体的に例示しました。



3年 表見返し−p.1 もくじ

各学年
5教材に設定
（1年のみ６教材）

他者との学びで

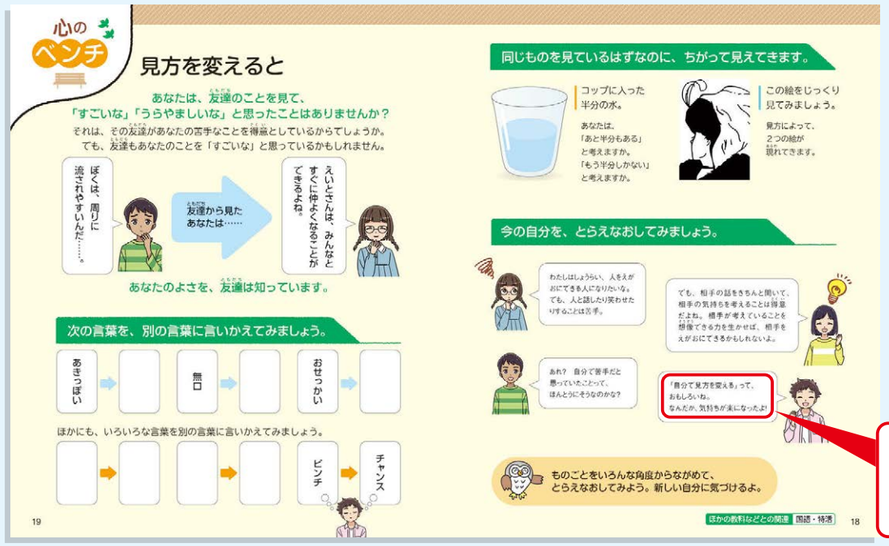
他者と対話しながら協働する場面を豊富に設定しました。自分とは異なる新たな考えや価値に触れながら、さらに自分を見つめていく、本質的でより深い学びへと誘います。

自己肯定感 UP

「自ら学びに向かう力」を育む

道徳科の学びを広げ、深めるコラム ― 「心のベンチ」

道徳的価値をより深く、多面的・多角的に考えることができるよう、さまざまな知識や活動などを取り上げました。教材はもちろん、道徳科以外の教育活動などともつなげて学ぶことができます。



「自分で見方を変える」って、
おもしろいね。
なんだか、気持ちが楽になったよ!

5年 p.18－19　心のベンチ「見方を変えると」

リフレーミングで**視野**を広げて

現在のありのままの自分を見つめ、とらえ直してみると、今まで気がつかなかった自分のよい面を知ることができます。

自己肯定感 UP

3年 p.148－149　心のベンチ「地いきを語ろう」

家庭・地域との連携 ➡ p.24

ほかの教科などとのかんれん　社会・そうごう

カリキュラム・マネジメント

「心のベンチ」 ページ右下に
ほかの教科などとの関連を表記

2年 p.134－135　心のベンチ「ふわふわ　ちくちく」

心のベンチ 一覧

いじめ・情報モラル・SDGs・多文化共生・自己肯定感の５つのテーマで各学年に１点ずつ掲載、系統的に配列しています。

テーマ／学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
いじめ	なかなおり	ふわふわ ちくちく	心の声に耳をかたむけて	なくそう！いじめ	いじめは止められる！	いじめと法律
情報モラル	よい　ことかな どうかな	「ありがとう」をつたえよう	ゲームがやめられない	インターネットの向こう側	親しき中にもマナーあり	めざせ！情報モラルの達人
SDGs	わたしのすきな　○○	いろいろなしごと	さいがいにそなえて	きれいな水	わたしたちの未来を守るために	平和に向けて －私たちが知り、つないでいく－
多文化共生（国際理解・伝統と文化・郷土愛）	せかいのおはよう	日本のいろいろなおまつり	地いきを語ろう	世界の国々の「子どもの日」	世界のことわざ	みんな、自由。みんな、平等。
自己肯定感	わたしはおてつだいのたつじん	あなたのクラスのだあれだ	おしゃべりすごろく	自分をホメホメ大作戦	見方を変えると	夢に向かって －自分をはげます言葉－

［**いじめを未然に防ぐ**取り組み］情報モラル、多文化共生、自己肯定感のテーマからも**いじめの未然防止**につながる内容を扱い、さまざまな切り口から考えることができるようにしました。